

シンガポール国立大学シミュレーションプログラム報告書

横浜市立大学医学部医学科 6年

123018 上原昂一朗

はじめに

今回、シンガポール国立大学シミュレーションプログラムに応募した理由は、日本と異なる教育システムに加えて、BLSやACLSを含んだ救急初療の実践的学習の場であるということです。来年から研修医となる現時点で、多くの common disease に模擬的に対応する実習に大きな魅力を感じました。やはり、事前に準備をして救急診療科で研修するのと、そうでないのとは差が生じるのではと考え、本プログラムに応募するにいたしました。

実習内容

Date	Module	Registration Time
02 Jul, Mon	BCLS Re-cert & AED	7.45 am
03 Jul, Tue	ACLS Day 1	7.45 am
04 Jul, Wed	ACLS Day 2	7.45 am
05 Jul, Thu	Basic Clinical Procedural Simulation	8.15 am
06 Jul, Fri	Computer Based Simulation	7.45 am
09 Jul, Mon	Paediatrics & Airway Simulation	8.15 am
10 Jul, Tue	Team STEPPS	7.45 am
11 Jul, Wed	Advanced Clinical Procedural Simulation	8.15 am
12 Jul, Thu	Crisis Simulation	7.45 am
13 Jul, Fri	Professionalism in Action	7.45 am

シンガポール国立大学 5年生(5年制)60人(1学年 300人)の受講する救急初療シミュレーションプログラムに参加させていただきました。8-10人程度の班に横浜市大生2名ずつ配置させていただきました。BLS、ACLSから始まり、とても実践的な内容の実習でしたので新鮮に感じる点が多かったことが印象的でした。一日の最後にある総括では、シミュレーションした初期対応に加えて、その後の治療方針なども詳しく講義させていただきました。2週間という期間ですが、とても内容の濃く充実したものとなりました。大まかな実習スケジュール

ルは上記の通りです。

1-3日目にBLS、ACLSを学びました。主に午前中に講義を行ってから午後実践するという形でした。3日目にテストを行ってシンガポールの資格をいただきました。4日目は、採決やエコーなどの基本的な手技の練習となっていました。5日目は、専用のPCソフトを用いた救急初療のクイズのような問題でした。当日は約25種類の問題に対する解説も行われたため、夜遅くまで実習は続きました。6日目は気道確保に関する日でした。7日目はチーム医療に関する課題について、班員とともに考察しました。8日目は手技を学ぶ日でしたが、前回よりも縫合などの科目が追加されていたため、より実践的でした。9日目は医療過誤に対する授業でした。本国と大まかに同様な対策でしたが、とても大事なことですので、夜11時ほどまで講義が行われたことが印象に残っております。最終日はプロフェッショナリズムに関する日でした。多様な背景を持った患者さんに対するプロの姿勢を見て学ぶことができました。模擬患者役には全員リハーサルを行った役者さんに来ていただいていた点に驚きました。NUSの救急初療シミュレーションカリキュラムは、数多いケースに関して実際に自分の体を動かして学ぶというスタイルですので新鮮に感じました。一方で、NUSの生徒はとても親切で、疑問に思った点はすぐに解説してくれましたので、講義で複雑な話をしているときも特別苦にすることはありませんでした。

全日程を通じて、NUS(National University of Singapore)生の高いモチベーションに刺激を受ける二週間となりました。彼らは座学の勉強にとどまらず、シミュレーションプログラムを通じて、常にアウトプットする練習を怠っていませんでした。もちろん、NUSの授業の形式に拠る部分もあるかと思いますが、個人の面でも大学時代の医学に対するアプローチ方法の違いに大きな驚きと感銘を受けました。

この経験をどのように活かしていくか。直近の目標としては、本年の実習で今まで以上に主体的に参加したいと思いました。また、今回学んだことや経験したことを積極的に後輩に教える場に参加したいと思いました。BLSやACLSを英語で実践したことは、今まで英語と医学を別々に学んでいた私にとって応用的な課題でした。海外で医療に携わる際には勿論のこと、国内で英語を活用する際に自信を持って向き合っていきたいと思いません。

観光

実習開始2日前の土曜日夕方に空港に到着しました。土曜日チェックインをし、日曜日には身の回りの準備や通学路の確認を行いました。2週目の土曜日は終日観光を行いました。シンガポールは面積が小さいので、2-3日かければ主要な観光地を回ることが可能です。実習終了日の金曜日の深夜便に搭乗し帰国しました。

治安状況に関して

留学期間中は大学敷地内の寮に宿泊していました。市街地から離れた土地であったため、大学構内をはじめ治安が悪いと感じることはありませんでした。リトルインディアやチャイナタウンといった地域に観光した際は、街が整備されていないように感じましたが、特別危険であるとは思いませんでした。女性でも安心して生活できる治安状況だと考えます。また、街の衛星レベルも厳しい法律の影響か、近隣アジア諸国に比して清潔であると感じました。

宿舎

大学構内の Utown という宿舎が集まった地域があり、その中の CAPT という約 20 階建ての宿舎に滞在していました。一泊約 4000 円程度で、バストイレキッチンが共用でした。Utown 内に食堂やレストランがあり営業時間も長いので特別困ることはありませんでした。